



## CHANGのお話し会（埼玉県川口市） ー 東南アジアの子供と考えるSDGs ー

私たちは東南アジアの子ども達の生活と教育を支援している「一般財団法人CHANGアジアの子供財団」と申します。カンボジアで孤児院、幼稚園、学習塾、タイでは知育教室を運営。ラオスで小学校と幼稚園を建設。ベトナムの障がい児施設のサポートも行っています。

コロナにより海外渡航ができなくなった今できることとして、日本の小学生へのお話し会をはじめました。

途上国には、親もいない、学校にも行けない、家もない子がたくさんいます。日本のように三食ご飯が食べれて、学校に行けて、家があるところ。このお話し会を通じて、日本の良いところを改めて知ってもらい、また海外の逆境の中でも前向きに生きる子ども達の強さ、助け合う優しさを学んでもらいたいと思います。更には国際協力やSDGsへの関心が芽生えてくれれば何よりと考えてます。



逆境に生きる途上国の子ども達

7月31日（土）

### 川口市立芝児童センター

まずは川口市芝の児童館です。タイトルは「ラオスのお友達と一緒にSDGsを考えよう！」。お話し会の流れは、まずはラオスの概要、そして私たちがどんな活動をしているか、そしてSDGs。これをクイズを交えながら進めます。私「ラオスの場所は？」「暑い国？寒い国？」「国旗はどれだ？」

私「東南アジアの他の国にあつて、ラオスにだけないものは？・・・地図をよく見てね」

子「他に国にはない？・・・あつ、あれっ？海？海がない！」

私「ラオスの子供に海の写真を見せたら『どうやって作ったの？』って聞かれましたよ」。小学生は

「へー」と不思議そう。ご飯（カオニャオ）を手で食べる習慣には

「えー！」と驚き、メコン川の夕日には「きれい・・・」と感動してました。



ご飯を手で食べるラオスの小学生

そしてSDGsを学びます。ラオスでは森林伐採が進行。木は地球を暑くする二酸化炭素を吸収してくれるので、木が少なくなると地球はどんどん暑くなってしまう。

ラオスの子ども達は地球温暖化を防ぐために次の三つを行っています。

- ①電気を大切にしよう。
- ②物を大切にしよう。
- ③水を大切にしよう。

私「では、クイズ！この部屋でできるSDGsは何がある？」

子「テレビを消す！」

子「電気つけっぱなし！」

子「エアコンが・24度・？」



最後はラオス語でご挨拶。

「コプチャライ！（ありがとう）」

「サバイディ！（さようなら）」

8月2日（月）

### 戸塚児童センター「あすばる」

こちらの児童館では「カンボジアのお友達と一緒にSDGsを考えよう！」。まずはカンボジアの地理や気候を紹介。そして私が実際にカンボジアの小学校へ行った時のことをお話ししました。子ども達は同年代の子供の生活に興味津々です。



日本と違う時間割・カンボジアの1年生

私「カンボジアの小学校は授業が半日しかありません」

子「えっ?! なんで?」

私「あとの半日は自分で勉強したり、踊りの練習をしたり、サッカーや縄跳びもはやってます。親の仕事を手伝う子もいますよ」

私「お正月って何回あると思う？」

子「一回・・・」

私「カンボジアには三回あります」

子「えー?! いいな! お年玉も?」

戦争で学校が崩壊されてしまったり、中国の文化を深く受けていたり、日本とは異なる習慣がたくさんあることを学習。親の仕事を手伝うってことには黙ってうなずいてました。

SDGsへの理解力も高く、クイズでは次々と答えが出てきます。

私「買い物でできるSDGsは?」

子「エコバックを使う!」

子「割りばしはもらわない!」

子「冷蔵庫を直ぐ閉める!」



そして第二部は「カンボジアの子供とお友達になろう!」という企画です。これは日本の小学生が作ったアクセサリーと中古の衣類を、私たちが次回カンボジアに行った時に現地の子ども達にプレゼント。その時の写真や動画を日本の子ども達にお返しするという内容です。自分のつくったもので誰かが喜んでくれたら嬉しいですよ。



カンボジアのお友達のために

この二カ所の児童館でのお話会が二カ月に一度の定期開催することが決まりました。小学生に分かりやすく、楽しく伝えることができるよう取り組んでいきたいと思ってます。次回は10月、お楽しみに。